

## 令和4年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(向原地区)

開催日時	令和4年11月24日(木)午後7時から午後9時05分
場所	向原児童館
町民参加者	32人(40代以下1人、50代2人、60代以上29人)
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼都市整備課長、地域防災課長、町民税務課長、新東名対策室長、定住対策課長、こども教育課長、事務局3人

### 出席者からの主な意見や提案

#### 《テーマ：防災体制の整備について》

- 各自治会の防災組織の見直しについてだが、各自治会の防災組織(広報、消火、避難誘導)などは昔のままであり、高齢化や人口減少が進む中で形だけのものになっているのではないかと懸念。本当に必要な役割を町から提示するべきではないかと。また、向原全体の防災体制について、自治会長が各自治会の責任者になっているが実際に災害が発生した時に避難所の運営などで向原地区全体をまとめるリーダーとか、そのサポートメンバーの選出が必要ではないかと。これについては、選出自体が非常に難しいことであり、予め役割や任期を決めておく必要もあるかと思うが、町の考えや他の市町村の事例をお聞きしたい。
- 今町が決められている向原の避難所は、山北中学校と山北高校の2カ所である。今年山北連合自治会が生涯学習センターでの防災訓練で避難所の設営や運営に協力する訓練を行ったが、実際は町職員が主導していた。災害の規模が大きくなれば、同時に何カ所も避難所を開設する必要があると、その場合には各避難所に配置できる職員はごく少数になってしまうため、開設や運営には住民の協力が必須となる。このことについて、住民の役割分担に対する町の考え方はどうか。なお、今年度の町の訓練では、避難所内のプライベートスペースを確保するための組み立て式のテントなどが用意されたが、各避難所への配置状況や今後の配置計画などはどうなっているのか。また、避難訓練のあり方について、それぞれの地区の事情もあるので一律には言えないが、町が自治会に対して要望する訓練の項目やその中でのポイントを提示してもらえれば、計画などの立案がしやすくなると思う。
- 第5次総合計画に安全安心、防災に強いまちづくりとあり、その中で自主防災組織の支援強化、防災への意識啓蒙促進とあるが、計画が来年度で終わってしまうにもかかわらず、総括もされていない。いずれにせよ、自治会に意見を伺ってどうするかという時期ではない。また、過去に自治会長や副自治会長は、町のとりまとめにより厚木の消防の教育研修に参加していた。そこで、避難所設営など想定外なことも含めてやっている

が、そういったことが生かされていない。近年は、コロナ禍で防災訓練もできず難しい面もあったと思うが、住民の防災に対する意識改革は必要だと思う。近年では、線状降水帯など予測できない自然災害が発生している。尺里川の堤防は、当時の基準ではクリアしているといわれたが、昨今の大雨などに対応できるかは分からない。

○自主防災組織の見直しについては、各自治会で様々な問題があるので自治会ごとに対応するということがよいか。また、地域の実情に応じて自主防災組織自体が必要なければ作らなくてもよいという解釈でよいか。防災に関して向原地区全体をまとめるリーダー等を選出する案は本当によい案だと思っている。しかし、このリーダー等には基礎能力や資質が必要だという話があったが、人材を見つけるのが難しいと思う。町で具体的に誰かにお願いするというかたちで動いていただければと思う。

避難所の運営について、来年度向原地区が合同防災訓練の地区になるということで、今後避難所運営委員会を連合の中で検討していかねばならないと感じた。

今年度の山北連合自治会との合同防災訓練に参加させていただき、コロナ禍により参加していたのが自治会長と副自治会長だけだったとはいえスムーズに流れていると感じた。今後は、町から具体的な行動というか町から連合自治会、自治会はこうして欲しいということをも具体的に述べていただきたい。

○自主防災組織も含めて、地域が取り組みを全くしていない訳ではない。地域ごとに意識の違いはあるが全くゼロということはない。こういった経緯もあるので、難しい規定に当てはめるのではなく、今後は「命を守るために何をやるのか」を活動する人に分かりやすく伝えられるようなものにしていけばよいのではないか。

○災害発生後3日間は自分の身は自分でということだが、マスコミ等の報道では3日間以内に助けなければ助からないというのを聞くが矛盾しているようにも感じるがどうか。

○地域によっては1人住まいの高齢者、要介護者がおり、本人又はそのご家族が支援者になって欲しいということをお願いしている。支援者を町に報告しているが中には1人で3人4人とか複数の支援者になっている場合があるが町でチェックしているのか。そもそも災害時に自分の身を守るだけでも大変なのに1人で3人も4人も面倒をみるのはおかしいのではないか。

○過去に避難所に避難された方で、酸素吸入をされている方が酸素吸入時、ボコボコと音がするため他の方に迷惑がかかるから個室を利用させてもらえないかと申し出たところ、災害時のことだから特別に個室を用意することはできないといわれた。

○前耕地地区に道路が計画されているが、そのうち松並木がある箇所について注視をしているがその周辺の用水路が旧態依然の状態です。石積が崩れており、耕作していない畑もあり遊水地化している状況もある。そういったことを踏まえると災害予防の観点から整備の仕方もかわってくると思うが進捗状況はどうか。道路の幅は、4、5メートルの幅ということではよろしいか。また、前耕地の尾先地区に住んでいるが岸地区や上本村からの水が全部地区に溜まっている。昔から用水路を整備するにあたって、石積みのところをコンクリートで固めていくと用水路の容積が全体的に小さくなっていく。そういったことも考慮して用水路を整備いただきたい。

《テーマ：その他》

○御殿場線の線路沿いの草刈りの件について、町にも連絡しているがJRで全く草刈りをしてくれない。保育園の付近については、年に何回も草刈りをしているのに要望している箇所の手前まででいつも終わっている。また、水上橋付近の町道を広くする工事をしているがいつ完成するのか。

○町で人口増への積極的な取り組みをしていただいで感謝している。自治会の活性化についてお聞きしたい。今年みずかみテラスが完成し入居がはじまっている。先に建設された山北駅前の町営住宅の自治会の加入状況を教えていただきたい。また、本村東がマンションで一つの自治会となっている。みずかみテラスの入居者についての自治会加入についてはどのように取り組んでいるのか。

○転入者が役場の窓口で手続きを行う際に自治会加入についてどういう啓蒙をしているのか。自治会加入率について、分母の数字は住民基本台帳上の数字だと思うが、実際に世帯分離をして親子2世帯で住んでいる世帯は自治会では1世帯とカウントしていることから、実際の加入率は90%以上になると思う。そういった数字も精査していただきたい。

○岸地区に物流の企業ができてから周辺道路の傷みがひどい。大型のトレーラーが走っておりひどい時は補修した道路が2週間ももたない。道路を補修のための費用がかなりかかっていると思う。また県道については、損傷していないので、県道と同様の規格で補修を検討していただきたい。補修についての費用を企業にも負担していただくなどの方策も考えていただきたい。

○町では定住化を促進しており、みずかみテラスを建設するなど取り組みを行っているが、森林や農業の関係で移住してきたという方はほとんどいないと思う。テレビである町では農業や林業をやりたい方がいたら指導員をつけたうえに、1年間や2年間は住民税を取らずにかつ補助を出すことにより移住者を増やしているというのを見た。山北に移住してきても当面生活していくためには働き口がないと駄目だし、農業をやるということで

あれば休耕田が増えているので、農業法人を作るなどを検討していく必要があるのではないか。

○町の決算を見ると、特別会計の中で水道事業と下水道事業がひっ迫してきているが、総合計画では人口が11,000人で計画しているが現在9,604人となっており、人口減少に歯止めがかからない。このような状況で、特別会計は厳しくなってくると思うが、町長はどう考えているのか。

○昨年度、広報で山北の歴史文化といったものを大切にしていきたい。学校教育の中での指導、位置付けをしていきたいというのを読ませてもらった。素晴らしいことだと思うが、現在学校教育の中でどのように位置づけられているのか。また、向原地区でも川村囃子とか子どもたちの行事ができなくなっている。3年くらいやらないと子どもたちはこの3年間で小学生から中学生にどんどん進学していく。それを指導している人たちの苦勞とか教育の中で位置づけられていれば学校で紹介してあげるとか、学校で演じてあげるとか、歴史文化の紹介を教育の中でぜひお願いしたい。